

ジンコソーラーは北海道苫小牧市のメガソーラーに 3.1MW モジュールを供給

2018年10月19日、世界をリードする太陽光発電会社ジンコソーラー（NYSE：JKS）は北海道苫小牧市のメガソーラー（大規模太陽光発電所）「ソフトバンク苫小牧明野北ソーラーパーク」に 3.1MW モジュールを供給したと公表した。建設では、SB エナジーが設計、調達および工事監理業務を担当する。運転開始は 2018 年 12 月中を予定している。

該当メガソーラーの敷地面積は約 6 万 m² で、出力規模が約 3.1MW、年間発電量は約 380 万 2,000 kWh を想定しており、これは一般家庭の年間電力消費量に換算すると約 1,056 世帯分に当たる。発電した電力は再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度を利用して全量を中部電力に売電する。

この 3.1MW のプロジェクト以外に、ジンコソーラーは北海道で他のプロジェクトにもモジュールを提供していた。2016 年、ジンコソーラーは北海道苫小牧市に 38.1MW のモジュールを供給し、2017 年、ジンコソーラーは北海道苫小牧市に 38.4MW のモジュールを供給した。北海道の独特な気候によって、モジュールの抗寒性と湿度に対する非常に高い要求がある。ジンコソーラー製の量産したモジュールが、マイナス 1500V のシステム電圧バイアスにおける摂氏 85 度、相対湿度 85%（ダブル 85）の条件下で安定作業 96 時間、マイナス 1000V のシステム電圧バイアスにおける摂氏 85 度、相対湿度 85%（ダブル 85）の条件下で、192 時間も安定した作業ができる。それ以外、優れた機械的並びに化学的ストレス耐性機能のおかげで、ジンコソーラーのパネルは頻繁な台風、地震、雪や風などを含む過酷な自然条件の下でも高い性能を発揮できる。そして、ジンコソーラーは優秀なモジュールの品質により、DNV GL2018 年信頼性テストで「トップ パフォーマー」（TOP PERFORMER）モジュールメーカーの証明書を獲得した。

「今回は SB エナジーと提携できて、再度北海道苫小牧市にモジュールを供給し、幸甚に存じます。弊社は SB エナジーとの協力はジンコソーラーが日本での業務をいっそう増強しました。弊社は、パートナーの皆様が信頼し得る高品質の太陽光発電用パネルを提供し、日本におけるグリーンエネルギーの発展に引き続き積極的な推進します。」とジンコソーラーのグローバルマーケティング副総裁の苗根さんがコメントした。

ジンコソーラー（JinkoSolar Holding Co., Ltd.）について

ジンコソーラー（NYSE: JKS）は太陽光発電産業のグローバルリーダーです。ジンコソーラーは中国、米国、日本、ドイツ、英国、チリ、南アフリカ、インド、メキシコ、ブラジル、アラブ首長国連邦（UAE）、イタリア、スペイン、フランス、ベルギー、その他の諸国地域にあるさまざまな公益、商業、居住区顧客基盤に対し、自社ソーラー製品を供給し、自社ソリューションとサービスを提供、販売。ジンコソーラーは 2018 年 6 月 30 日時点で、垂直統合ソーラー製品バリューチェーンを構築して、シリコンインゴットとウエハーで 9.0GW、太陽電池で 5.0GW、太陽光発電モジュールで 9.0GW の年間総発電容量がある。

ジンコソーラーは世界で 8 ヶの生産拠点があり、日本（2）シンガポール、インド、トルコ、ドイツ、イタリア、スイス、アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、チリ、オーストラリア、南アフリカ、アラブ首長国連邦、16 の海外子会社を持ち、販売チームはイギ

リス、ブルガリア、ギリシャ、ルーマニア、ヨルダン、サウジアラビア、南アフリカ、エジプト、モロッコ、加納、ケニア、コスタリカ、コロンビア、パナマとアルゼンチンに広がって、従業員が1万2000人以上を雇用しております。

〒104-0031

東京都中央区京橋二丁目2番1号京橋エドグラン9階

代表電話：03-6262-6009

FAX：03-6262-3339

ホームページ：<http://www.jinkosolar.com/index.html?lan=jp>